

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

オーディオチューンのモードを選ぶ

用途に応じて、オーディオチューンのモードを選んでください。

1 情報・設定メニュー(P.25)からオーディオチューンを選ぶ

- FM/AM、CD、BLUETOOTH Audio、MEMORY MUSIC、SD(音楽)、USB(音楽)、iPod(ミュージック)から「Sound」を選んで、オーディオチューン画面を表示します。

2 オーディオチューン画面から、モードを選ぶ



●高音質モード

高音質でオーディオを楽しむのに適したモードです。音声はLPCMで記録されたBlu-ray Discは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。(ビット・周波数拡張→P.127)

●エフェクトモード

様々な音響効果を楽しむのに適したモードです。Blu-ray Discの高音質の音源なども、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

お知らせ

- オーディオチューンの設定は、高音質モード・エフェクトモードでそれぞれ別に記憶されます。

FADE/BALANCEの出力レベルを調整する

1 オーディオチューン画面(左記)からFADE/BALANCEの状態表示部をタッチする



2 ▲▼◀▶で調整する



- 「センター」を選ぶと、値が0になります。

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。

音響効果「音の匠」を設定する

音の匠とは

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しめます。

- 「匠 TAKUMI マスターサウンド」[お買い上げ時の設定]:
レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。(2 wayスピーカー向き)
- 「極 KIWAMI 高域強調」:
音楽性を重視して高域補正した、メリハリのある感じで音楽を楽しめるモード(フルレンジスピーカー向き)
- 「和 NAGOMI 会話重視」:
人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

高音質モードの場合

1 オーディオチューン画面(P.124)から◀▶で「音の匠」を選ぶ



- 「OFF」を選ぶと、設定が解除されます。

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



エフェクトモードの場合

1 オーディオチューン画面(P.124)から◀▶で「音の匠」を選ぶ



- 選ぶたびに、音響効果が切り換わります。
音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



お知らせ

- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。